

大学図書館の新たな魅力の発見

竹原 和慶

はじめに

みなさんは図書館をどのように利用しているだろうか？図書館に行く機会があるだろうか？今回の調査研究のテーマとして図書館を扱うことにしたのは、多くの人に地域の図書館、大学図書館の魅力を伝えて、利用してもらいたいと思った。今回、私が通っている大学の図書館とアウクスブルク大学図書館、市立新図書館とを比較しながら、それぞれの違いや特徴について説明していきたい。

関西大学図書館（千里山キャンパス）

関西大学図書館は 1985 年に開館し、地上 3 階・地下 2 階からなる。蔵書数は約 220 万冊で年約 80 万人の来館者数である。（2013 年度現在）

図書館を利用できるのは学生だけではなく、地域住民（吹田市、池田市、八尾市、堺市、高槻市）も対象であり、卒業生や学生の保護者、協定校の学生も可能である。部屋の設備としてはグループ閲覧室、レファレンス室（静かに本を読める空間）、開架閲覧室がある。

学生に対して大いに図書館を利用してもらおうと、図書館利用ガイダンスを実施したり、ボランティアで本の落書きを消すというものを呼びかけていたり大学側も努力している。

図書館の利用状況としては、春学期試験期間中の 7 月が最も多く約 14,000 人となり、学生数の半分に匹敵する。また、14 時から 15 時の時間帯に利用者が最も多い。

しかし、図書館が学生にとっての自習室のようなものとなっていて、本来、本を読み、課題についての学術書を探すという役割を果たせていない面もあり、少し残念に思っている。さらに、図書館内では椅子に座って携帯電話を見ていたり、堂々と眠っていたりしているのを見ると、もっと図書館を有効に活用して欲しいと思う。

図書館を活用していくためには、本を読むことに慣れていくことであり、特に学生はこれから社会に出て行く上で、資料に目を通したり、要約していったり、プレゼンをしていくためには文章を読む能力がとても重要になってくる。まずは計画を立てて「この本を 3 日で読み終えるのだ」という強い意志を持ち、本に親しみを抱き、そして、大学の図書館を利用していけば、今まで自分の興味の無かった分野の本との出会いが待っていると思う。



開架閲覧室



関西大学図書館外観

市立新図書館

事前研修の段階ではアウクスブルク大学の図書館の視察を希望していたのですが、プログラムに市立新図書館を視察することが組み込まれていたため、比較する対象が大学図書館だけではなくなったので新たな発見があると思いながら、調査した。

市立新図書館は 2009 年設立の比較的新しい建物であり、五つの司書棟からなっている。その一つには図書館バスが配置されている。司書の無い地域にバスで本を貸し出している。私は、図書館バスという言葉聞き慣れていなかったのが驚いた。施設の特徴としては低エネルギーハウスと呼ばれており、空調が無く冷却屋根で温度調節し、また騒音防止のために天井が反響防止の壁で施工されており、市民に本を読むための快適な環境を提供している。



市立新図書館外観

司書の人によると、年間 418,000 人が利

用し、1 日では約 1,500 人となる。利用者比率は大人と子供で 1 : 1 の割合だという。私はどのような人が図書館を利用するのかと尋ねたところ、経済的に余裕のある家庭の人は本屋等で買って読み、経済的に苦しい家庭の人は図書館で本を借りる人が多いそうだ。ちなみに、ドイツ人の毎日読書率は文部科学省の読書環境・読書活動に関する諸外国の調査によると 38%とフィンランドに次いで高い。司書の人によると「13 歳くらいまでに本を読む習慣をつけてもらいたい」と言っておられたので、司書の方も幼いうちから本に親しみをもってもらいたいと願っているように思えた。

大学図書館と異なり、市立図書館なので市民全体が対象であり、もちろんそこには子供も含まれるので、児童用スペースや遊び場のスペースが設けられている。図書館内に蔵書されている種類としては新聞、雑誌、コミック・児童書やボードゲーム、さらには DVD や CD である。ただし新聞・雑誌は貸し出しされていない。司書の人によると、未成年者の貸し出し料金は無料で、その理由としては、若者に出来るだけ本に親しんでもらうためだと言っている。20 ユーロ（約 2800 円）を払うと年間に何冊でも借りることが出来る。



児童書コーナー



ボードゲームのコーナー



休憩スペース

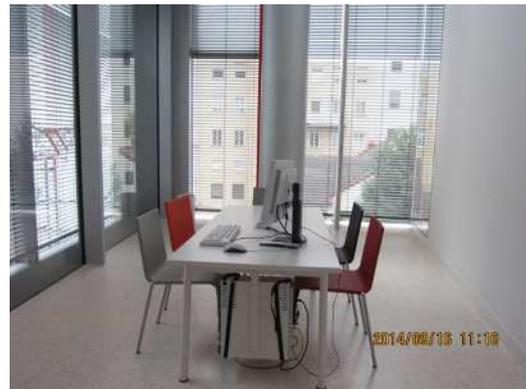
海外から取り入れられている書物としてはイギリス、フランス、ロシア、スペインであり、現在、予算の関係上、チェコとポーランドの書物は1冊しかないという。日本の書物は今回、尼崎市から「忍たま乱太郎」が寄贈され、日本からの初めての書物となった。

施設はさらにバリアフリー設計になっており、難聴者の方のために図書館で講演会がある場合などは聞き取りやすいような部屋の設計になっており、また車いすの利用者のためにドアのノブが低くなっていたりしている。私が最も驚いた設計は階段の角の部分の角を丸い布で被せていて、そうすることにより、利用者が角で手に当たってもダメージが少ないようになっている。私は、今までそのようなバリアフリー設計を見たことが無かったので、驚きよりも感心した。



角を丸くすることで怪我を防止

本の貸し出し以外にも情報検索所でインターネットが2時間無料で利用でき、音楽室のような部屋があり、そこでは楽器の音あわせに使用され、図書館にもこのような部屋があるのだと驚いた。



インターネットサービス



防音設備の音楽室

最後に見学した自動で返却されるシステ

ムでは児童書、CD、DVD、一般向けの本などを BOX に自動で本の裏にあるバーコードで種類を判別する。その現場を見学することが出来たので、感動した。関西大学では返却された本がどのように元の場所に戻されるのかを、このシステムを見てから興味が湧いた。



自動返却システム

アウクスブルク大学図書館

アウクスブルク大学は 1970 年に設立されて法学部、経済学部等の 7 学部から構成されている。生徒数は約 19,000 人。職員は約 100 人。図書館の蔵書数は約 250 万冊。図書館は中央図書館とそれぞれの系統別（法学部等の社会科学専用、歴史・言語専用、理化学系専用）で構成されている。法学や経済学部系は生徒数が多いので、最も大きい規模の施設を使用している。また、蔵書数の半数は開架方式で、残りの半分は地下の書庫で管理されている。



返却レーン

図書館を利用するためには「図書券」が必要であり、この図書券は大学の学食コーナーでも使用が可能になっていた。万が一、アウクスブルク大学図書館内で希望の本が見当たらない場合には、無料で他大学の図書館と連絡が取れるようになっている。この部分では関西大学と同じようなシステムがとられていると思った。

アウクスブルク大学の開館時間は平日が 8 : 30 ~ 24 : 00、土曜日が 9 : 30 ~ 24 : 00、日曜日が 12 : 00 ~ 18 : 00 となっている。ここで、私が質問したのは平日・土曜日の閉館時間についてである。司書の人によると、利用者は論文の課題について多くの資料を調べることに時間を費やす学生が多いとのことである。関西大学のドイツ語の先生に聞いたところ、ドイツの大学は卒業すること自体が難しく、6~8年間かけて卒業する学生も普通にいて、ただ最近では4年で卒業する学生もいるみたいということで、最近のドイツの学生は勤勉なのかなぁと思った。関西大学ではテスト期間中に多くの学生で賑わうので、私は司書の人に、どのような期間に図書館を多くの学生が利用されますかと質問したところ、テスト期間中に引き続き、夏休み期間中も多くの学生が利用するとのことであった。

私がアウクスブルク大学図書館で最も驚いたのは、勉強するときや本を集中して読むために、耳栓が売られていたことである。関西大学でも導入してもらいたいと思った。



耳栓が販売されていた



図書館最古本（ゲーテンベルク本）

《まとめ》

今回の調査研究を通して感じたことは、市立新図書館やアウクスブルク大学図書館には開放された空間が多くあり、スペースを最大限生かした工夫がなされていたことだ。一方、関西大学図書館はどちらかというと閉鎖的なスペースが多く、個室的な部屋も多いので、息苦しい空間になっているように思う。そこから、もっと開放的なスペースを作るために棚と棚との間を広げ、また学生だけでなく地域住民にも利用してもらえるように、利用可能地域の拡大を求めたい。そうすることで、学生だけでは分からなかった図書館の問題点や改善点を相互に指摘できると思う。そうすることで、大学図書館にとって大きな刺激になると思う。

今回の大学図書館研究で、他の国での大学図書館はどのような現状なのかを知りたいと思った。そこから、地域別や国別で共通のシステムがあるのか、ないのか、または、独自のシステムがあるのか、ないのかを比較することで、データを増やしていき、より一層、日本との違いが鮮明になっていくと思った。



自動貸し出し装置

この研究は市立新図書館が新たに加わったことで、大学図書館だけでなく市民目線での理想に近い図書館像を見出すことが出来た。市立新図書館をプログラムに追加して下さったアウクスブルク市の関係者に改めて感謝申し上げたい。

《参考資料》

・ 関西大学図書館フォーラム第 19 号

http://web.lib.kansaiu.ac.jp/library/about/lib_pub/forum/2014_vol19/2014_00.pdf

・ 関西大学図書館 開架閲覧室

http://image.search.yahoo.co.jp/search?fr=top_ga1_sa&p=%E9%96%A2%E8%A5%BF%E5%A4%A7%E5%AD%A6+%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8&ei=UTF-8&xargs=2&b=21

・ 関 西 大 学 図 書 館 外 観

http://image.search.yahoo.co.jp/search?ei=UTF8&fr=top_ga1_sa&p=%E9%96%A2%E8%A5%BF%E5%A4%A7%E5%AD%A6+%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8

・ 平成 23 年度「生涯学習施策に関する調査研究」 読書環境・読書活動に関する諸外国の実態調査 文部科学省

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2012/10/22/1323725_12_1.pdf